

2022.4.6

Dance Base Yokohama



2022年4~5月のDaBYラインナップを発表

～小嵐健太+森永泰弘『ころり』、LGBTQ+としてのアイデンティティーをもとに創作を行う「Thick & Tight」ワークショップ、MOSA/月面着陸 ショーイングを開催～

Dance Base Yokohamaでは、4月~5月中旬にかけて、3組のアーティストによるクリエイション、ワークショップ、ショーイングを開催します。企画詳細は次ページ以降をご覧ください。

いずれの企画へも、ご取材を随時承っています。DaBYの取り組みや公演情報を掲載いただける際には、担当までご一報いただけますようお願い致します。

4月26日(火)~27日(水) : Thick & Tight による集中ワークショップ 会場 : Dance Base Yokohama

LGBTQ+としての自身のアイデンティティーを作品のメッセージの中心に位置づけ、世界各国のクィア文化のリサーチなどから進める「Thick & Tight」による2日間のワークショップを開催します。「Thick & Tight」のダニエル・ヘイ＝ゴードンとエレノア・ペリーは、ドラッグやリップシンクなどを取り入れながら、分断化する社会やエコロジー問題に対し作品を発表してきました。本ワークショップは、現代社会におけるダンスの役割や可能性を問い続け、「既成概念を打ち壊す心地よさ」(The Stage)と評される作品創作の方法を探究する機会となります。チケットは、Peatixにて4月5日(火)より発売開始しています。

5月6日(金)~8日(日) : DaBY/SandD 小嵐健太+森永泰弘『ころり』 会場 : KAAT神奈川芸術劇場〈中スタジオ〉

4月よりDaBYレジデンスアーティストとして活動する小嵐健太と、これまでDaBY ProLab Closed Researchでのリサーチやクリエイションをともにしてきた音楽家の森永泰弘が、DaBYでの約3週間にわたるクリエイションのうち、KAAT神奈川芸術劇場〈中スタジオ〉でオープンスタジオを経て、新作を発表します。DaBYで行うクリエイション、及び5月1~5日に実施するオープンスタジオ期間はどなたでも無料で、創作風景を観賞できます。

チケットは、KAme(かながわメンバーズ) 先行発売を4月6日(水)、一般発売を4月7日(木)10:00より開始いたします。

5月9日(月) : MOSA/月面着陸 第4回ショーイング 会場 : Dance Base Yokohama

柿崎麻莉子、小暮香帆、中村蓉の3人から構成される「MOSA」が企画している若手育成事業「月面着陸プロジェクト」のショーイングを、4月から拠点とするDaBYで、初めて開催します。詳細・チケット発売は4月9日(土)に予定しています。

4月26日(火)~27日(水) Thick & Tight による集中ワークショップ

LGBTQ+としての自身のアイデンティティを作品のメッセージの中心に位置づけ世界各国のクィア文化の研究などを通じて創作活動を行うThick&Tightが4月に英国より来日し、2日間のワークショップを開催します。本ワークショップでは基礎的なダンス・トレーニングからスタートし、Thick & Tightとともに創造的な振付と作品創作の方法を探求します。

■Thick & Tight とは



©Darren Evans

ダニエル・ヘイ＝ゴードンとエレノア・ペリーは、クラシックバレエとカニングハムテクニク等のスキルを習得した後、彼ら独自の創作活動始める。歴史上の人物をたっぶりのユーモアと風刺を交えたストーリー作り、ドラッグ、キャンプ、リップシンクなどを取り入れたユニークで多様な音楽劇、個性あるステージデザインなどで、唯一無二の新たなダンススタイルを確立。

LGBTQ+としての自身のアイデンティティを作品のメッセージの中心に位置づけ、世界各国のクィア文化の研究などを通じて創作する作品は、現代社会におけるダンスの役割や可能性を問い続け、分断化する地球上の人間や生物のアイデンティティやエコロジーの問題にパワフルなメッセージや新たな価値観を提示している。Sadler's Wells、Barbican Centre、Royal Opera House、International Mime Festivalなどイギリスの主要な劇場やフェスティバルに参加し、メディアからも高い評価を受けている。www.thickandtight.com

■映像

Unclouded Moon

<https://www.thickandtight.com/unclouded-moon>

A Night with Thick and Tight

<https://www.thickandtight.com/a-night-with-thick-tight>

Romancing and Apocalypse

<https://www.thickandtight.com/romancing-the-apocalypse>

■レビュー

“既成概念を打ち壊す心地よさ” - The Stage

“誰にも真似できない作品だ” - BachTrack

“あくまでオリジナルで、豊かなインスピレーションに溢れる素晴らしい才能” - Total Theatre

“パロディーとパトスの絶妙なブレンド” - The Stage

“エレガントなスタイルで感情を揺さぶる振付” - Disability Arts

日 程 4月26日(火)・27日(水)

①11:00-12:15 テクニククラス(基礎的な身体作り、ウォームアップ)

②13:00-15:00 Thick & Tightのレパトリークラス(過去作品からレパトリークラスを学ぶ)

③15:30-18:00 クリエーションクラス(写真、映像、テキストや言葉等を用いて、動きを創造する)
+Q&A

※ 全クラス通訳付き

※ 両日異なる題材を用いて、習慣的な動きから脱却した新しく自由な動きを探求します。

会 場 Dance Base Yokohama

料 金 2日間通しチケット：14,000円 (通常16,400円)

1日間通しチケット：8,200円

テクニククラス：1,200円

レパトリークラス：3,500円

クリエーションクラス+Q&A：3,500円

※ 通し受講者を優先的に受付致します

チケット <https://thick-and-tight-ws.peatix.com/>

詳細 https://dancebase.yokohama/event_post/20220426-27

共 催 国際能プロジェクト実行委員会/ Mu:Arts、Dance Base Yokohama

5月6日(金)~8日(日) DaBY/SandD 小尻健太 + 森永泰弘『ころり』

ダンサー・振付家の小尻健太を起点として2017年に始動した、他ジャンルのアーティストとリサーチやクリエイションを行うプロジェクト「SandD (Project “Surface and Destroy”)」。近年は、サウンドアーティストの森永泰弘との協働から創出される身体表現を軸に、様々な分野からアーティストを迎え入れ、作品の制作を行っています。

今回は、Dance Base Yokohama においてこれまで小尻と森永がDaBYレジデンスダンサーと共にやってきた、ProLab「Closed Research」(2020) や ProLab for Dancers「ダンサー育成プログラム」(2021) でのリサーチやクリエイションで積み重ねた知見を元に、身体表現と環境との関係性のより幅広い展開を目論み、KAAT神奈川芸術劇場の中スタジオを舞台に公開クリエイションに挑みます。

構成・振付・演出：小尻健太 (DaBYレジデンスアーティスト)

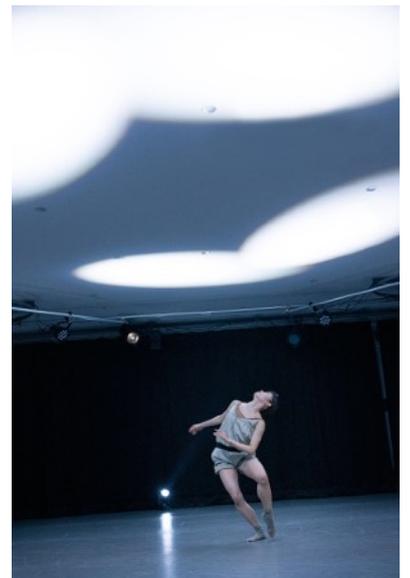
構成・サウンドスケープ：森永泰弘

出演：佐藤琢哉、畠中真濃 (DaBY)、青柳潤 (DaBY)、小尻健太

日 程	【オープンスタジオ】*出入り自由/無料 5月1日(日)~4日(水)11:30~17:30 / 5月5日(木)11:30~14:00 【パフォーマンス】*有料 5月6日(金)19:00開演、5月7日(土)14:00開演、5月8日(日)14:00開演
会 場	KAAT神奈川芸術劇場〈中スタジオ〉 〒231-0023 神奈川県横浜市中区山下町281
料 金	一般前売り 3000円 / U24前売り(24歳以下対象) 2000 円 / 当日券は500円増し
チケット	KAme (かながわメンバーズ) 先行発売：4月6日(水)10:00~ 一般発売：2022年4月7日(木)10:00~
チケット取扱	チケットかながわ： https://www.kaat.jp/ / 0570-015-415 (10:00~18:00) 窓口：KAAT神奈川芸術劇場2階 (10:00~18:00) Peatix： https://coroli.peatix.com/
詳 細	https://dancebase.yokohama/event_post/20220426-0508-2
主催/製作	Dance Base Yokohama、SandD
企 画	SandD
提 携	KAAT神奈川芸術劇場



(左)『The Threshold』©momoko japan
(2021年、ゲーテ・インスティトゥート 東京 ホール)



(右)『Dialogue』より©momoko japan
(2021年、Dance Base Yokohama)

5月9日(月) : MOSA/月面着陸 第4回ショーイング

柿崎麻莉子、小暮香帆、中村蓉の3人から構成される「MOSA」という言葉は、ネパールの南東に位置する地域で使用されているメチェ語で、“孔雀のようにショールを広げて踊る”という意味があります。日本語の猛者、NASAも意識して、3名の活動名称となりました。

DaBYでは4月よりMOSAのアーティストらがレジデンスアーティストとして活動を開始します。

4月～8月には、若手育成事業である「月面着陸プロジェクト」を実施します。MOSAのメンバーがこれまで体験してきた、素晴らしいメンターとの出会い、リハーサル漬けの日々、沢山の本番の経験などを伝える活動を、DaBYを拠点に行います。

■「月面着陸」活動内容

10代・20代前半の若手ダンサー（土本花、真壁遥、Ikuma Murakami）を選出し、下記の活動を実施しています。

- ・週に一度のリハーサル、月に一度の発表の場を設ける。
- ・複数名のメンターが長期的に若手ダンサーの成長を見守りサポートする体制をつくる。
- ・海外振付家とのクリエイションを通して海外で活動できる力を養い、多ジャンルのアーティストとのコラボレーションを通して、ダンサーとしての知恵やコネクションを深める。
- ・ダンスに関わる人も、そうでない人も、自分のできる範囲で気兼ねなくアーティストを支援できる仕組み、サポートをしやすい状況をつくる。

DaBYでの初回のショーイングは、5月9日(月)に予定しています。詳細情報の公開、チケット発売は4月9日(土)の予定です。詳細はこちら(https://dancebase.yokohama/event_post/20220404-0831)よりご覧ください。

Dance Base Yokohama

ダンスを中心とするパフォーマンスアート作品の創作を目的に、地域や文化芸術を愛する方のために開かれたダンスハウスとして2020年6月横浜を拠点に設立された。ワークショップや実験的なトライアウト公演の企画・運営、海外アーティストやカンパニー招聘、ダンスアーカイブ事業などを行い、振付家やダンサーのみならず、さまざまな分野のクリエイター、批評家、研究者、プロダクションスタッフ、そして観客の交流拠点をめざしている。

アーティストックディレクターを唐津絵理（愛知県芸術劇場エグゼクティブプロデューサー）が務め、ダンス、パフォーマンスアート領域全体の活動環境の整備、アーティスト・ダンサー・スタッフの権利擁護、観客・市場拡大施策等を展開する。

2020年「ダンスを社会にひらく」コンセプトが評価され、グッドデザイン賞受賞。2021年ロゴマークが東京TDC賞2021に入選。



©Takayuki Abe

唐津 絵理（愛知県芸術劇場エグゼクティブプロデューサー/DaBYアーティストックディレクター）

お茶の水女子大学文教育学部舞踊教育学科卒業、同大学院人文科学研究科修了。舞台活動を経て、1993年より日本初の舞踊学芸員として愛知芸術文化センターに勤務。2000年に所属の愛知県文化情報センターで第1回アサヒ芸術賞受賞。2014年より現職。2010年～2016年あいちトリエンナーレのキュレーター（パフォーマンス・アート）。大規模な国際共同制作から実験的パフォーマンスまでプロデュース、招聘した作品やプロジェクトは200を超える。

文化庁文化審議会文化政策部会委員、全国公立文化施設協会コーディネーター、企業の芸術文化財団審査委員、理事等の各種委員、ダンスコンクールの審査員、第65回舞踊学会大会実行委員長、大学非常勤講師等を歴任。講演会、執筆、アドバイザー等、日本の舞台芸術や劇場の環境整備のための様々な活動を行っている。

著書に『身体の知性』等。